

主な新聞記事

(平成22年秋)

叙勲受章 喜ぶ3人

秋の叙勲の受章者が3日付で発表され、都内からは388人が選ばれた。各分野に功労のあった人たちの中から3人に喜びの声を聞いた。

<本文記事1面>

撮影現場 録音は戦い

旭日小綏章 (映画録音技師)

紅谷愼一さん 79 (町田市)



「鉄道員」「稽山節考」など数々の名画に携わってきた録音一筋の職人は、「現場での録音は戦い」と熱く語る。「絵」に関心が向きがちな撮影現場で、車や飛行機、風雨など、撮影に関係ない周囲の音を排した環境をいかに勝ち取れるかに専念してきた。

青函トンネル工事を題材にした「海峡」では、風の吹き荒れた。京都市出身。工業高電気科から大映京都撮影所、東京日活撮影所を経てフリーに。現在は、日本映画・テレビ録音協会の理事長も務め、デジタル化の進む現場を「機材を使うのは人。こだわりの持った録音マンを残さなくては」と語る。その豊富な経験、技術を求めの依頼も続き、「もう一本ぐらいやってもいいかも」と笑った。

る竜飛岬で、現場録音にこたわり、風防付きの特製マイクを隠すため穴を掘ったことも。「映画は絵と音で成り立っている。少しでも映画を見る人の感動につなぐれば」。そんな思いを持ち続けてきた。

ワーグナーの孫が注目

旭日小綏章 (指揮者)

飯守泰次郎さん 70 (世田谷区)



タクトを振って半世紀。「オーケストラと一緒に育ってきた。受章は協力してくれたみんなのおかげです」と、笑顔を見せる。裁判官だった父はオペラや協奏曲などクラシック音楽が好きで、家庭には、いつも音楽があふれていた。ピアノを習い始めたのは5歳の頃。抜群の音感で、初めて見た楽譜でも自然に弾ける。

1962年に桐朋学園短期大学音楽科を卒業。米留學後、ドイツの作曲家ワーグナーの孫に見いだされたのをきっかけに、ワーグナーのオペラの殿堂バイロイト音楽祭で20年ほど音楽助手を務め、各地の歌劇場で指揮をとってきた。ワーグナーを得意とする指揮者として知名度も上がり、07年から常任指揮者を務める東京シンフォニーホール・モニック管弦楽団などを通じ、作品を積極的に日本に紹介してきた。古希を迎えたが、まだ道半ば。「会場が一体となる幸せな瞬間のために、タクトを振りたい」

悪質客引き排除に貢献

旭日双光章

(元都社交飲食業生活
衛生同業組合理事長)

やまもと のぼる
山本 登 さん 80 (町田市)



で町田駅前にはバーを開いた。接客教育の行き届いた従業員や、高級感漂う内装が評判を呼び、バブル期にはバーやクラブなど12軒を切り盛りした。

組合の理事長は2001年から4年間、務めた。理事長時代は、悪質な客引きを排除するために警視庁や都に働きかけて、ピンクビラ張りなどを規制する都迷惑防止条例の罰則強化にこき着けた。

「『楽しかった』『また来るよ』とお客さんから言われるのが元気の源」と話し、業界の将来についても「仕事で疲れた心身を癒やす社交飲食業の必要性は、これからも変わらない」と自信を持っている。

「社交飲食業界に身を投じて52年。受章は、大変光栄なことですよ」

かつて店を営む親類が急死し、店を引き継ぐ話を持ち上がったのは、大手建設機械メーカーに就職して間もない頃だった。

相談した会社の上司から「これからは洋風の社交飲食業がはやりのぞ」と助言され、28歳

秋の叙勲

内外 4231 人が受章

扇千景さん・飯守泰次郎さん

政府は3日付で2010年秋の叙勲受章者4173人と外国人叙勲の受章者58人を発表した。民間受章者は1761人(42%)で今春より120人増えた。女性は377人(9%)と今春より20人増。女性として初めて元参院議長扇千景(本名・林寛子)さん(77)が、より優れた功労があった人に贈られる桐花大綬章を受章する。福祉や伝統産業など一人目につきにくい分野の活動などでの受章者は1531人(37%)。

旭日章は社会の様々な分野で功績を上げた人、瑞宝章は国や地方の公的職務に長年従事した人が対象。旭日大綬章は元最高裁判事

の泉徳治さん(71)ら12人が選ばれ、瑞宝大綬章は元法政大総長の清成忠男さん(77)に贈られる。

漫画家の松本零士(本名・松本辰)さん(72)や俳優の司葉子(本名・相沢葉子)さん(76)、指揮者の飯守泰次郎さん(70)、写真家の江成常夫さん(74)、能楽師の関根祥六さん(80)らが旭日小綬章に選ばれた。

外国人では東京五輪女子体操の金メダリスト、ベラ・チャスラフスカさん(68)やチェコ、オーストリアのウィーン・フィルハーモニー管弦楽団のコンサートマスター、ライナー・キュッヒルさん(60)らが旭日中綬章を受章した。

「生きるとは何か」を漫画に



松本 零士さん

72

旭日小綬章

きょうの屈辱に耐えてあしたのために生きる。『宇宙戦艦ヤマト』の沖田艦長が抱く信念は、モデルとなった父の思いでもあった。「人間は生きるために生まれたんだ」と。

特攻隊にかかわり、多くの仲間を失った父。その教えを「終わりなき侍」という意味の「零士」という筆名にこめた。「だから僕は、死ぬつもりはない」小松崎茂の絵など「戦後のSFや漫画に大洗礼をうけた」。

小学校の頃から漫画を描き始め、高校生でデビューした。「漫画は面白ければいい」。

当初はそう考えていた。だがやがて創作に行き詰まる。何のために描くのか。ふと思いついた光景があった。終戦直後に鉄道自殺する引き揚げ兵の姿。「生きるとは何か」を明確にテーマとして意識するようになった。「ヤマト」や「銀河鉄道999」などの代表作に共通する世界観が、そこから生まれた。

SFを描くが、登場人物たちの抱く感情はすべて実体験に基づく。疎開先で見たB29の大編隊、戦後に露店をしていた母の複雑な表情……。『目で見て、体験したことだからリアルに伝えられる』と信じている。

作品は両親に見てもらえた。それがうれしかった。「受章も見てもらいたかった。知ってもらいたかった」(高津祐典)

扇千景さん「まさか再叙勲」

元参院議長の扇千景さん(77)が3日付で、女性初の桐花大綬章を受章した。国土交通相を3年間務めた後の2003年にも旭日大綬章を受け、記者会見で「まさか再叙勲があるとは。21世紀は女性の世紀。少しでも女性の励みになれば」とはにかんだ。

宝塚歌劇団出身。女優から国会議員へ転身し、参院議長に。07年に引退。今、古巣の参院は「ねじれ国会」の主戦場だ。「『盲腸』と無用論も出ていたが、参院の重みがわかってきたのでは。ねじれを感じさせない良識の選択ができれば、参院の評価はもっと上がる」とエールを送った。

秋の叙勲 4173 人 扇千景氏に 桐花大綬章

政府は3日付で2010年秋の叙勲受章者を発表した。今回最高位の桐花大綬章は扇千景(本名林真子)元参院議長(77)が選ばれた。女性として、桐花大綬章は初めてで歴代最高

位になる。「銀河鉄道999」で有名な漫画家の松本零士(同松本展)さん(72)には旭日小綬章が贈られる。(5面に関連記事、7面に受章者名簿)

1人、旭日章889人、瑞宝章3283人の計4173人で03年の制度改正後、最多となる。民間人は全体の約42%に当たる1761人。この数年は1600人台だったが、公務

員や国会議員らに偏る「官民格差」を是正する菅内閣の方針で上積みした。女性は約9%の377人だった。旭日大綬章は、泉信也元国家公安委員長(78)、泉徳治元最高裁

判事(71)、井上喜一元防災担当相(78)、氏家斉一郎日本テレビ会長(84)、児島仁元NTT社長(79)、田名部匡省元農相(75)、南野知恵子元法相(74)、広中和歌子元環境庁長官(76)、深谷隆司元通産相(75)、松田若夫元科学技術担当相(73)、矢野紘也元公明党委員長(78)、渡辺秀央元郵政

相(76)の12人。瑞宝大綬章には清成忠男元法政大総長(77)が選ばれた。芸術文化の分野では、女優の司葉子(同相沢葉子)さん(76)、新内節三味線で人間国宝の新内伸三郎(同角田富章)さん(70)らも旭日小綬章を受章した。

別枠の外国人叙勲は29カ国・地域、58人が受章。エジプトのアフゼイド元かんがい・水資源相(75)ら3人が旭日大綬章に決まった。大綬章は天皇陛下、重光章は菅直人首相が5日に皇居で授与する。贈られた。後進の指導に尽力した消防団員の中山謙二郎さん(71)も埼玉県川口市で瑞宝双光章、伝統工芸品の金沢箔の名声を高めた今村俊明さん(72)も金沢市で瑞宝単光章を受

生涯かけ「世界」作る



1953年、高校1年でデビュー。「零士」という筆名には「無限大の待」という意をこめた。当時は、漫画が今ほど市民権を得ていない時代。「刀をペンに持ち替えた終わりなき浪人。そんな覚悟がないと、漫画家になれませんでした」

漫画家 松本零士さん(72) 二旭日小綬章

「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」など数多くの作品をヒットさせた。今もネット上で漫画を連載。テレビやネットなど新しいメディアにかかわれたのは幸せです。「漫」という字は「みずみずしく、日のごとく温かい目を表す」と説明する。「この目は若者の目。僕は生涯かけて一つの世界を作り上げているように思う。エンディングのカーテンコールはまです」【内藤麻里子】

撮影所で人生を学んだ



「人との出会いに心から感謝しています」。19歳で芸能界入り。品のよい美しさと親しみやすさから一躍、大スターになった。主演した映画は約150本にのぼる。「4本掛け持ちしたこともありますが、忙しい方が楽しい。撮影所で育

女優 司葉子さん(76) 二旭日小綬章

ち、人生を学びました」と振り返る。その口からは、成瀬巳喜男、小津安二郎の面匠をはじめ、仕事をともにした監督や俳優の名前がとどろくあふれた。「いろいろな人物を演じられて、こんなに魅力のある仕事はありません。受章を機に、過去の名作を見てもらえたら、うれしいですね」舞台も57作に出演した。今はこちらが中心だ。美形と演技力はいささかも変わらない。【鈴木隆】

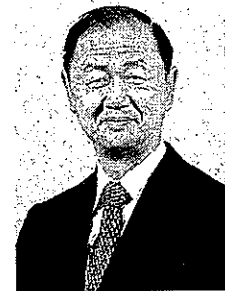
相(76)の12人。瑞宝大綬章には清成忠男元法政大総長(77)が選ばれた。芸術文化の分野では、女優の司葉子(同相沢葉子)さん(76)、新内節三味線で人間国宝の新内伸三郎(同角田富章)さん(70)らも旭日小綬章を受章した。別枠の外国人叙勲は29カ国・地域、58人が受章。エジプトのアフゼイド元かんがい・水資源相(75)ら3人が旭日大綬章に決まった。大綬章は天皇陛下、重光章は菅直人首相が5日に皇居で授与する。

自動車レース、F1(フォーミュラワン)に参戦するホンダの総責任者を務めるなど、生粋の技術屋。ところが1990年、経営トップに上り詰める。「青天の霹靂(へきれき)だった」と振り返る社長就任だった。

旭日重光章

ホンダ元社長

川本 信彦氏(74)



「若い」と、強烈な個性で辣腕(らなく愛し)、黄金期を築いたF1さえも、社内の大反対を押し切り活動休止。その後、ミニバンブームに火をつけた「オデッセイ」を商品化するなど窮地を救った。

常に消費者や世の中のためにホンダができることは何なのかに、目線を置き続けた。「今回の受章は、社会の皆様がホンダの企業活動を認めていただいたからこそである」。受章の喜びを消費者目線のコメントで締めくくった。

生粋の技術屋、経営も辣腕

秋の叙勲 喜びの声

(2面参照)

2003年の女性初の旭日大綬章に続く2度目の叙勲。「まさか再叙勲があるとは思わなかった」と驚く。政界で女性議員の存在感が増すなか、「今更恥ずかしいが、少しでも(女性議員の)励みになるならいいな」と思った。

桐花大綬章

元参院議長

扇 千景氏(77)



氏との結婚で芸能活動から離れたものの、すぐに復帰。女優と「梨園の妻」の一人二役をこなした。それだけでも当時の歌舞伎界で

輝き続け2度目の栄誉

は珍しかったが、1977年に参院選に立候補して政界へ。荒波をくぐり抜け、国土交通相など要職を歴任、04年に女性初の参院議長に選出された。

07年の政界引退後、大半の仕事は断っている。「女優25年、国会議員30年、働き続けてきて夫にも家族にも迷惑をかけた。これからは恩返しをしたい」。受章の知らせは夫の巡業先の名古屋で受けた。

旭日小綬章

漫画家

松本 零士氏(72)



「若者へのエールになる物語を描き続けてきた」。デビューから50年以上。作品数は1千本近いというが、創作の情熱は衰えない。宇宙人との遭遇、海底探検、ジャングル大冒険……。幼いころからSF漫画に心を奪われ、描き始めた。高校に入ると、子供向け新聞に漫画を連載し、貧しかった家

瑞宝重光章

文化人類学者

川田 順造氏(76)



「アフリカ研究という領域が社会的に認められ素直にうれしい」。日本、欧州、西アフリカの3つの視点から考察する「文化の三角測量」を提唱、興行きの深い文化人類学を展開した。

体調を崩した16歳のとき、千葉県奥の農村で過ごした約1年間が原点。「山村で暮らす人の話を聞き

「文化の三角測量」実践

「学ばばどに分らないことも増える」と強調、研究の最前線からは退くつもりはない。

未来志向、情熱衰えず

計を支えた。高校卒業後、漫画に専念しようと上京。30代半ば、舞い込んだのが「宇宙戦艦ヤマト」の依頼だった。「この時が来た」と、「波動砲」や「海底から発進する宇宙船」など、温めていたアイデアを盛り込んだ。アニメは口コミで評判を呼び映画化。その後のSFアニメブームのさきがけとなった。

旭日小綬章

漫画家 松本零士さん (72)



果てしない 夢と希望

漫画家として56年間、「銀河鉄道999」「宇宙戦艦ヤマト」など数々のSF漫画の名作を生み出し続けた。自らの受章には「名譽な」と喜びを語り続けた。

秋の叙勲

長年、積み重ねてきた功績が、榮譽の光に照らされた。3日付で政府が発表した秋の叙勲受章者。漫画家の松本零士さん(72)は「名譽なこと」と顔をほころばせ、動く彫刻で知られる造形作家の新宮晋

世界を飛びまわる造形作家らしく、受章の知らせは滞在先のパリで受けた。「電話口で耳を疑いましたね。全く考えていなかったもので、とてもうれしい。美術界のどの団体にも所属せず、三田(兵庫県)の山の中で一人で、好き勝手に生きてきましたから」約40年間、風や水という自然エネルギーで動く彫刻を屋内外に設置してきた。作品は、国内よりむしろ欧米やアジアなど海外に多い。生き物の感星である地球に優しいエネルギーを

造形作家

新宮晋さん (73)

旭日小綬章



一貫して「自然」視覚化

品に取り込むことで、「自然」を視覚化する。その姿勢は一貫している。原点は、ローマにある。東京芸術大学で絵画を学び、卒業後に留学した。自作の絵を切り抜き、それを屋外で写真に撮ろうとした

漫画界を盛り上げてきた同世代の漫画家たちの功績をたたえた。「ともに励みあっていた友人ともういたかったね」また故郷・福岡県にいた昭和29年、高校1年でデビュー。18歳のときに上京した。「切符を買つと残りの所持金は600円。蒸気機関車で24時間かかるし、「もう帰れない」と覚悟を決めた」。少年が果てしない宇宙を旅する物語「銀河鉄道999」は、この体験が「土台」となっている。

23歳まで過ごした下宿生活では「何のために描くのか」という目的意識「に目覚めた。近所の学生や同世代の友人と親しく付き合ひ、見つけたのは「希望を追いかける若者へのエールと若者共通の悩み」という自分の「心棒」だった。以来、宇宙を舞台に、若者の冒険ストーリーを描き続けてきた。

時、風で揺れてうまく撮れない。「でもこれがね、実に面白い動きを見せたんですよ。それで立体化して風で動かしてみたいと…」東京・銀座のメゾンエルメスの「宇宙に捧ぐ」や関西国際空港出発ロビーの「はてしない空」など、有名な動く彫刻の数々は自然を美しく、そして楽しくアピールする。「地球の素晴らしいさを私なりの方法で表現したい。そのために全力を注ぎたい」。その夢は果てしない。(早瀬廣美)

いいから火星に行きたい」今でも食事は1日4回。「メシ食わずれば力なし」と笑う。これまでの数々の作品は、一続きの物語になっているが、すべてを締めくくるエンディングはまだない。「大団円をやるとあの世に行きそうだから、まだ描きたくないね」ペンネームの「零士」は、無限で終わりのない「零」とサムライを意味する「士」をあわせ「永遠の侍」という意味。永遠の侍は「生涯、身を引くつもりはない」と意気軒高だ。(大矢博之)

秋の褒章 都内から87人

秋の褒章の受章者が2日付で発表され、都内からは87人が選ばれた。3人に喜びの声を聞いた。

緑綬褒章

神戸信和さん 84

(中野区)



「学校に負けぬ」ガイド

自ら購入したアンモナイトの化石を使って現代の巻貝との構造の違いを説明したり、虫の入った琥珀を見せたり……。

「見学者がどの程度知識を持っているか。どれぐらいの説明を求めているか」を考えながら館内を1時間にわたり案内する。相手に応じたきめ細やかなガイドは「学校の授業にも負けない」と自負する。

国立科学博物館での週1回の教育ボランティアは、制度開始以来、23年間務めている。旧通産省(現経済産業省)出身。地質学が専門で、最後の仕事は化石や鉱物の展示などを通じ、地球内部のメカニズムを紹介する地質標本館長だった。

受章は「400人を超えるボランティアの奉仕とそれを可能にした科学博物館が認められた」と控えめに喜ぶ。「これからも教科書には書いていない知識を子供たちに伝えたい」

紫綬褒章

小宮康正さん 54

(葛飾区)



江戸小紋の伝統守る

「伝統を守るには一人だけの力ではできない。江戸小紋にかかわるみんなでもらった」

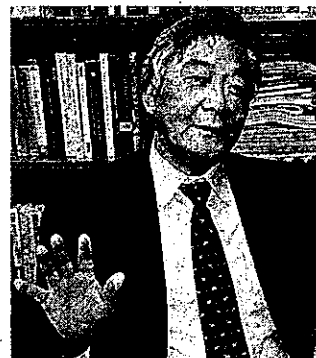
ミリ単位の模様を彫り抜いた型紙を使って染色する江戸小紋は、江戸時代に武士の袴に用いられ、女性の衣服にも広まった。10年以上続く家業に入ったのは中学を卒業してすぐ。若い頃は仕事に没頭し、家と敷地内の工場を行き来するだけの日々を送ったこともあった。

だが伝統にあぐらをかいてきたわけではない。色あせや色焼けを防ぐ染料の改良など技術革新を怠らなかつた。「変わっていくことで生き延びることができると確信している。父で人間国宝の康孝さん(84)もかつて同じ章を受章した。2代続けての栄誉を「本当にうれしい」と喜ぶ康孝さん。その脇で「これからは気張らず、一日一日、しっかりとやっていきたい」と表情を引き締めた。

紫綬褒章

水野忠恒さん 59

(豊島区)



租税法研究は「天職」

「個人的に褒められたことはありましたが、社会に評価されたのは初めてです」と喜ぶ。

東北大や早稲田大を経て、1997年から一橋大で教えている。なじみが薄く、他の分野に比べて研究が進んでいない租税法だが、「国民の関心事である税金について定めた最も身近な法律で、社会への影響も大きい」と説明する。研究生活は30年以上に及び、家族からは「天職」と言われるという。

2000年に政府税制調査会(首相の諮問機関)の「法人課税小委員会」委員長を務めた。大手銀行などが合併や再編を検討していた時期で、企業の合併・分割にかかわる「組織再編税制」の導入に尽力した。大学、大学院のほか、法科大学院でも講義する多忙な毎日。学会で海外に出かけた時に教え子たちが異国の街を案内してくれるのが楽しみの一つだ。

